

退職教員プロフィール

菅野 純
(KANNO Jun)
教授

(1950年2月21日生まれ)



<学歴>

- 1973年 早稲田大学第一文学部卒業
- 1976年 早稲田大学大学院修士課程修了

<職歴>

- 1973年4月 八王子市教育センター教育相談員 (嘱託) 1976年4月より 常勤
- 1985年4月 八王子市教育センター主任教育相談員
- 1987年4月 早稲田大学人間科学部専任講師
- 1991年4月 早稲田大学人間科学部助教授
- 1997年4月 早稲田大学人間科学部教授

<研究経歴>

- 1987年～2014年 学校カウンセリングの効果的展開の研究
- 2000年～2002年 「精神的充足・社会的適応力」評価尺度の開発研究
- 2002年～2014年 「精神的充足・社会的適応力」評価尺度を利用した問題行動予防研究
- 2005年～2009年 登校行動の持続要因の活用と効果の実践研究
- 2010年～2014年 教師力向上のための自己アセスメント型キャリア支援プログラムの開発研究
- 1999年～2014年 少年武道に関する教育臨床心理学的研究

<所属学会>

- 日本発達心理学会
- 日本健康心理学会
- 日本心理学会
- 日本教育心理学会
- 日本学校メンタルヘルス学会

<その他 (受賞学術賞 等) >

- 2009年 東京都稲城市教育功労賞

<主要研究業績>

■著書 (単著)

- 子どもの見える行動・見えない行動 瀝々社 1990年
- 心の声、聞こえていますか 瀝々社 1992年
- 教師のためのカウンセリングゼミナール 実務教育出版 1995年

いじめ—子どもの心に近づく 丸善 1996年
教師のためのカウンセリングワークブック 金子書房 2001年
武道—子どもの心をはぐくむ 日本武道館 2001年
子どもの心を育てる「ひとこと」探し ほんの森出版 2002年
反省的家族論 実務教育出版 2003年
子どもの問題と「いまできること」探し ほんの森出版 2005年
教師のためのカウンセリング実践講座 金子書房 2007年
不登校—予防と支援Q&A70 明治図書出版 2008年
教師の心のスイッチ ほんの森出版 2009年

■編著書

学級崩壊と逸脱行動 開隆堂 2003年
問題行動へのアプローチ 開隆堂 2003年
教師のための学校カウンセリング学 現代のエスプリ471 至文堂 2006年

■共編

臨床心理学（坂野雄二・佐藤正二・佐藤容子と）有斐閣 1996年
人間関係スキルアップワークシート（嶋田洋徳・坂井秀敏・山崎茂雄と）学事出版 2010年

■共編書

子どもを取りまく生活環境（春木豊と）開隆堂 2003年
いじめ—予防と対応Q&A73（桂川泰典と）明治図書出版 2012年

■分担執筆

心理臨床におけるノンバーバル・コミュニケーション 春木豊編著「心理臨床のノンバーバル・コミュニケーション」川島書店 1987
熱中しすぎる子の教育相談 真仁田昭他編「子どもの教育相談室」金子書房 1988
学校における介入の原理 坂野雄二編「登校拒否・不登校」同朋舎 1990
登校拒否児の心理臨床 乾吉佑・飯長喜一郎・篠木満編「教育心理臨床」星和書店 1991
生徒指導とカウンセリングマインド 坂野雄二・宮川充司・大野木明編「生徒指導と学校カウンセリング」ナカニシヤ出版 1994
学童期の心理臨床的問題 岡堂哲雄編「臨床心理学」日本文化科学社 1998
子どもの社会的能力を育てるには 武蔵国際総合学園編「不登校と向き合う」朝日新聞社 2001
子どもの生活の乱れとその回復 教育と医学の会編「知と感性をそだてる」慶応義塾大学出版会 2002
武道の教育的意義 「日本の武道」日本武道館 2007年
健康福祉を支える臨床行動学 中島義明・木村一郎編「『健康福祉』人間科学」朝倉書店 2008
コミュニケーションの基礎づくり 有元秀文編「ネットいじめ・言葉の暴力克服の取り組み」教育開発研究所 2008
来談者中心療法 森和代・石川利江・茂木俊彦編「よくわかる健康心理学」ミネルヴァ書房 2012